

あきつ



No. 11 令和5年7月 4日

校長 太良木 香江

激しい雨のため一斉下校、休校、大変お世話になりました。

例年、梅雨末期は豪雨が発生しやすく急激な空の変化に警戒が必要です。6月30日（金）も子どもたちが下校する頃に激しい雨の予報が出されていたため、13時30分に一斉下校を行いました。お迎えや安心メールを使ってのご連絡等ご協力をいただき本当にありがとうございました。

また7月3日（月）も早朝、線状降水帯が発生し学校周辺の通学路が冠水していたこと、午後からも大雨の予報が出ていたことから休校といたしました。保護者の皆様には両日とも急な対応をお願いし申し訳ございませんでした。

6月30日（金）の学校の対応として兄弟姉妹がいる子どもは各教室にお迎えに行き、一緒に下校できるようにしました。また本校職員も各下校コースに出向き、子どもたちを見守りました。そして地域の皆様にもお願いして正門、北門の交通整理や下校の様子をご自宅付近、中には自転車で校区を回って見てくださった方もいらっしゃいました。下校時は小雨になり、私たち職員もホッとしました。

今回の対応として保護者の方から「安心メールを使って学校に連絡する方法がよく分からなかった」というご意見をいただきましたので7月2日に配信しました安心メールでは改善を行いました。

今後も大雨の予報によっては、また緊急の対応をお願いすることがあるかもしれません。下校を早める、休校の際は育成クラブも閉設となります。保護者の皆様のご理解とご協力をどうぞよろしく願いいたします。

わくわく狂言体験を行いました。

5. 6年生を対象に狂言体験を行いました。6月27日に狂言の脚本を手掛けておられる山川里海先生の新作の狂言「熊本三銃士」を鑑賞しました。そして28日から各学級で笛や小鼓の和楽器に触れたり、能楽で謡われる謡を大きな声で読んだり貴重な体験をすることができました。私も小鼓を叩いてみましたが「ベチッ」という鈍い音で「ポン」という爽快な音は出ませんでした。教えてくださった先生も「なかなか納得する音は出ないんですよ」と話され、和楽器の奥深さを感じることができました。また、挨拶と姿勢、そして日本の伝統文化を受け継いでいく大切さにも気付かされました。



6月はいじめ根絶強化月間でした。

先月は校長講話で「守ろう きみとわたしの境界線」の話をしました。各学級でも道徳科や学活の時間等に相手の気持ちを考える大切さや状況等をネガティブに捉えるのではなく、ポジティブに考えるリフレーミングを学習した学年もありました。学んだ内容の掲示もあり、みんながうれしくなる言葉「ふわふわ言葉」や人権標語等が校内に見られます。

7月に入り、いじめ根絶強化月間は終わりますが、「いじめをみんなでなくしていこう」～その言葉や行動で友達がどう感じるのか考えよう～のテーマのもと、人との関わり方を今後も子どもたちと考えていきます。また子どもたちの様子を見取り、きずなアンケート等を通して更によりよい生活が送れるように寄り添ってまいります。保護者の皆様もお気づきがございましたら、遠慮なくおっしゃってください。

【 学校教育目標 】

一人一人が輝く、笑顔あふれる学校

自ら考え主体的に行動する人を育む教育の推進

～考える子・チャレンジする子・つながり合う子～



7月の生活目標 外に出るときは、ぼうしをかぶろう
～友達と言葉をかけあおう～

ホームページ
QRコード

